



The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

9

2014
SEPTEMBER

9月10日発行
第5巻 第3号 通巻46号

Bulletin
CHARTERED 2010



◆今月の聖句 ヘブライ人への手紙第12章6節

「主は愛する者を鍛え、子として受け入れるものを皆、鞭打たれるからである。」

クラブ会長主題：和の心を持って!! クラブ会長：河村栄二

国際会長主題："Talk Less, Do More" "言葉より行動を"

国際会長：アイザック パラシンカル (インド)

アジアエリア会長主題："Start Future Now" "未来を始めよう、今すぐに" アジア会長：岡野 泰和

西日本区理事主題：「響きあい、ともに歩む To walk together, echnig each other」西日本区理事：松本 武彦
-こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆー-

京都部部长主題：『行雲流水』～Be Y's men～ 京都部部长：畑本誠(京都トウビー)



「内部書記を拝命して」

佐古田 正美

「内部書記」…う～ん、全く苦手な役職でありますw

思えば、新社会人として入社した会社では、いきなり営業部門配属。当時の上司からは「売ってくるまで帰ってこんでもええ!」だけの指示。転職した30代前半からはまたしても営業。その後すぐに上級管理職として秘書まで付けてもらえる立場で、事務方はまるで人任せ。口八丁、手八丁でこのうと30年近くやってきて、そのまま無職になって早10年弱…還暦直前になって恐ろしいツケが回ってきたものです。

そんな訳で目下、暗中模索、五里霧中の内部書記人生真っ只中をとぼとぼ、よれよれ歩んでおります。三役各位は皆さん、ベテラン揃い。「委員会報告書の期限が迫ってますよ～」とか「出欠連絡取っていただけましたか～」とか「あ、その報告も内部書記の仕事でしょ?」と言われ続けて3か月が経過しようとしています。

変に営業方の仕事の忙しさが分かっているだけに、「今、こんなメールを流しても、みんな毎日忙しくて迷惑だろうな…」とか思って、つい督促を躊躇してしまいます。最近になって、これがイケナイことだとやっと気付きました。人の予定なんか全く気にせずに、バンバン督促メールを流しまくる。この断固たる非情さが書記や事務方には絶対に必要ですw

よって、ここで紙面をお借りして、皆さんに改めましてお願いをさせていただきます。クラブメンバーには、毎月の行事案内の出欠を速やかに連絡していただきたい。その際、できれば「保留」とか「未定」とか「△」とかはやめていただきたい。特に例会については、基本的に「出席がメンバーの義務」なので。また、各委員長には毎月の各委員会の開催と、委員会報告書を速やかに提出していただきたい。まずは当面、しつこい督促メールを入れ続けますが、なにとぞご理解とご協力の程～w

8月第1例会「納涼例会」

平成26年8月7日

今期3回目の例会は納涼例会でした。

今期は私がドライバー委員長をさせていただいています。今のところ、ドライバー委員一丸となっていていい感じで進められています！

この場を借りて委員の皆様にも心より感謝を申し上げます！今回の納涼例会のドレスコードはサマーファッションと設定させていただきました。浴衣、アロハ、間に合わなくワイシャツの方と色とりどりの衣装で華やかな？感じてよかったです^^ TOBEからもゲストで吉田ワイズ、若井ワイズも京都部会のアピールに来てくださり共に楽しく時間を過ごせてそれもよかったです！

この日はCSアワーも併設し、久保田主事より府立医大の大文字のボランティアについて説明いただきました。難病の子供がずっと病院から出られないので季節を味合わせたいという強い想いが伝わって身の引き締まる思いでした。

そんな硬い話から一転ビール飲み放題の食事タイムへ。ファッション対決に司会から電話かかってきたら当たりゲームなどプチイベントも用意させていただき、景品に団扇や扇子を差し上げてみました！

なかなか好評だったと自負しております(笑)

ニコニコタイムも盛り上がり冷めず8000円と大入りでした！個人的には屋上のビアガーデンが暑くて苦手なので涼しくホテルの部屋で納涼するのはなかなか粋な過ごし方かなと思っていますw



あと、佐古田ワイズの三女の京ちゃんが歌を歌ったのがいまだに可愛いです。

アットホームで楽しい、でも真面目なところもある素敵な例会でした！

メンバー並びにゲストの皆様ご協力ありがとうございましたm(_ _)m
岸田 靖司

8月第2例会「部長公式訪問」

平成26年8月28日

今回は、京都部長の畑本誠ワイズ、EMC主査の牧野篤文ワイズ、ファンド主査の中村隆司ワイズをお迎えして行われました。

畑本部長からは部長主題の「行雲流水 Be Y's Men」から始まり京都部の方針についてスピーチをいただきました。行雲流水は自然現象を表す禅語で畑本ワイズが好きな言葉ということです。人生は順風満帆ではない。それでも雲が空を行くように、流れる水のように、淡々と、ありのままを受け入れ、おおらかな心をもって生きるといった意味とのことでした。

部長は体調が少し優れないとのことですが、全クラブの公式訪問に様々な行事への出席にと大変お忙しい中、こういった行雲流水の感覚をもって臨まれているのだなあと感じました。いよいよ京都部会が近づいていました。いままでになく、テーマだけで中身は当日まで内緒とのことです。

畑本部長のもとで実行委員会の皆さんがどのような企画をされているのか楽しみです。是非みんなで揃って参加できればと思います。

牧野ワイズの熱いEMCへの想い、中村ワイズのワイズ全体のファンド事業のお話も大変参考になりました。公式訪問有難うございました。

宇佐美 賢一



「府立医大こども夏祭り」

平成26年8月16日

私たちは毎月府立医科大学病院の小児医療センターで子ども達を励ますプログラムを行っています。普段の活動は、プレイルームを使ってお話をしてあげたり、歌を歌ったり、クラフトをしたりして遊んでいます。

プログラム作りでは子ども達に季節を感じてもらえるように心がけています。そんな中、今回の「大文字の送り火と夏祭り」は、大きなイベントとして、私達自身も新しく取り組んだものでした。小児医療センターの庭園テラスの目の前には如意ヶ岳が大きく見えています。このロケーションを活かし、子ども達にこの大文字を見せてあげることはできないかという病院の先生方や私達の気持ちが一つになって始まったプログラムでした。当日は、生まれてすぐの赤ちゃんから高校生まで、たくさん子ども達とその家族の方が来てくださいました。長い入院生活を送っている子ども達も、夜店で遊び、暗い屋外に出ることができる特別感もありとても楽しそうでした。この夏祭り用に描いた提灯の絵や願いごとには、子ども達から家族へ、家族から入院生活を送る子ども達へとたくさんの想いが込められたものばかりでした。大文字に火が点火された瞬間のみんなの目の輝きはとても印象に残っています。家族や子ども達、一緒にこのプログラムを企画したワイズメンや病院の先生方とみんなが一つになった瞬間でした。笑い声とみんなの笑顔があふれて、私達にとってもとても幸せな時間となりました。お支え頂いたZeroクラブの皆様には感謝いたします。

ウィズキッズスマイルプログラムディレクター 渡邊 文子



「こぐま上野保育園 夏祭り」

平成26年8月23日



今年で4回目の夏祭りになります。

1回目の夏祭りからZEROクラブに協力していただき、今ではZEROクラブの協力なしではできない行事になっています。4回目になるとメンバーには何も説明しなくても自ら動いていただき周りを見ながら盛り上げたり、フォローしたり、普段一緒に仕事をしていないのにあうんの呼吸で動かれていたのには驚き、すごいメンバーだなと思いました。

今年は今までの反省から学んだことを生かして、何としても売り上げを過去最高にしたいと思い準備しました。

そして過去最高の売上。お祭りが終わった後のメンバーの疲れ切った、やりきったなんとも言えない顔が印象的でした。

今までで一番忙しかった夏まつりだと思います。

来年も今年の反省を活かして楽しい夏祭りに挑戦したいと思います。よろしくお願いいたします。

熊本 祐滉



「福島被災者支援リフレッシュファミリーキャンプ」

平成26年8月9日



8月8日(金)～13日(水)に福島で被災されたご家族の「リフレッシュファミリーキャンプ」が開催されました。わがZEROクラブは9日(土)リトセンでの夕食担当で、メニューはダッチオーブンで作るスモークチキン、小麦粉から作って石窯で焼くナンと河村シェフ特製カレー、サラダの予定でした。

天候が危ぶまれてましたが、当日もかなりの雨で、リトセンに避難準備勧告が出され急遽、YMCAで調理して食事することになりました。但し調理室は5時からしか使えないとのこと…宮越メネットをお願いして、宮越邸で下準備。スモークチキンは無理なので、オーブンで焼き、小麦粉をこねて発酵するところまでやって、YMCAへ移動。フライパンでナンを焼き、チキンもう一度フライパンで焼き、サラダを作って、カレーを温め、完成!福島のご家族と一緒においしく頂きました。ハプニング続きでしたが、これもまた楽しということで、来年もまた来て頂けると嬉しいな～(*^_^*)

ご協力頂いたみなさま、特に宮越メネット、ありがとうございました。

高倉 英理

「ファンド懇親会」

平成26年7月28日

京都部主催のファンド懇親会に参加した。西日本区ではすでに「ファンド交流委員会」に統合するという組織改革が行われたが、京都部では当面、現行組織で行くとのこと。

ゼロクラブでは、今年度から「ファンド+EMC」「交流+ブリテン」という半統合組織としているが、上位組織との整合性を考えると、再組織化の検討を要するかもしれない。ファンド委員会のかねてからの疑問であった、BFとEFの用途内容の説明がなされ、前者についてはメンバーが国際大会に参加するための渡航資金の全額または半額支給のための資金になるとのこと。このメンバーにはもっとクラブ単位で積極的に立候補すれば良いと思う。現に今年度は、パレスクラブの森田女史が立候補し、見事BF代表としてインド国際大会に出場されるこ

とになった。但し、次年度からは立候補者の年齢制限が満60歳未満に設定されたい。残念。

その後、各クラブからそれぞれのファンド内容の発表があり、ユニークなものとしては、不要品回収ファンド、わらしべ長者ファンド、ゴルフ大会の罰金ファンドなど面白い発想のものも数多くあった。トップスクラブではオリジナルウォーターファンドを京都部全体で推し進めたいとの意向。但し、価格が。一方、EFに関しては京都部としても用途内容の把握が出来ておらず、今後の調査が待たれるところ。

懇親会後は場所を変えて二次会が開催され、我々は隣同士となったトップスクラブの若手連中と大いに語り合う機会が持てた。

佐古田 正美

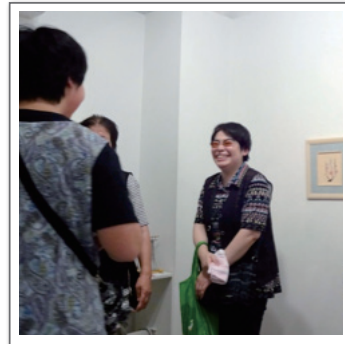
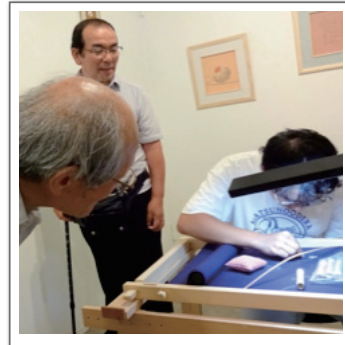
景仙会ブラウンハウス 銀座“巷房”日本刺繍作品展

一般社団法人景仙会ブラウンハウス(以下ブラウンハウス)は障害者就労支援A型、B型事業所を運営する事業所です、利用者は約8割が精神障害(発達障害)者で他に約2割が肢体障害者です。

この度、私がブラウンハウスで教えている日本刺繍教室の生徒の作品展を東京銀座の画廊“巷房”において7月28日(月)～8月9日(土)の約二週間開催することが出来ました、つきましては京都ゼロワイズメンズクラブには多大なご尽力、ご協力をいただき大変ありがとうございました、おかげさまで期間中約250名を超える来場者を迎える事が出来、大盛況のうちに終える事が出来ました。

来場者の中には有名な美術評論家、学芸員、嵯峨美術大学教授、ニース在住の美術アーティスト、画家の卵等々いろいろな方々に見ていただき、また貴重な意見交換が出来、初めてにしては実り多い作品展となりました、生徒には大きな刺激になったことと喜んでいますが同時に昨年11月からの短期間に立派に期待に応えてくれた生徒たちの素質、能力に大きな可能性を見出せる事が出来たように思います。

奥村 悟



メネット事業通信

中部部会・メネットアワーに参加して

8月31日(日)西日本区の部会の先陣を切って、四日市都ホテルにて、中部部会が開催された。部会に先駆け、隣接する「じばさん会館」にてメネットアワーが開催された。今期西日本区メネット国内プログラム「Universal Field」支援への理解を深めていただくための講演会を開催していただいた。小泉代表理事・中岡副代表理事のお二人が、U/F設立に至る経緯と、そこに至る思いを熱く語られた。希少難病罹患者の中岡様から患者の現状を、小泉様からは支援の在り方が語られた。未来につながる難病についての研究事業への助成と共に、今U/Fが重きを置いて取り組んでいるのは要介助者が「今を生きること」…健常者と同じくしたい事ができる環境づくりすなわちユニバーサルなフィールドの構築である。この二点を両輪としたU/Fの活動への理解と支援を訴えられた。参加者からは難病患者の方々の思いと、U/Fの目指すところがよく理解できたとの声が上がった。

部会においても、国内プロジェクトへの協力を呼びかける機会をいただき、メネット主任として、今期かかっている「メン・メネット二人三脚で」の思いをお伝えし、プロジェクトへの協力を重ねてお願いすることができた。その上、多大な献金協力をいただき、実り多い感謝の一日となった。今後、各クラブにおいてはU/Fが望んでおられる支援についてお考えいただいた上で支援と協力をお願いしたい。メネット事業主任 西村寛子





1 後期募集のお知らせ
グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

後期募集がはじまります。
お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。
ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。
詳しくはお問い合わせください。
お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。
グローバルアウトドアクラブ 9月5日(金)午前10時
電話(075)231-4388
スイミング・体育 9月1日(月)午前10時
電話(075)255-4709

2 第4回 AIDS文化フォーラム in京都
『トークバック』沈黙を破る女たち 上映会

2014年9月22日(月)
同志社大学 寒梅館 クローバーホール
A.上映会 14:00~16:00&
カフェトークバック 16:00~17:00
ホスト 同志社大学社会学部 准教授 野村裕美
ゲスト 安東医院 精神保健福祉士・バザー・ルネサンス・コーディネーター 松浦千恵
B.上映会 18:30~20:30
入場料:一般/500円
学生/無料(学生証を提示してください)
事務局:京都YMCA 電話(075)231-4388

3 「第4回AIDS文化フォーラムin京都」
～エイズを知ろう エイズで学ぼうIV～

日時 2014年10月4日(土)12:30~18:30、
5日(日)10:00~17:15(予定)
場所:同志社大学 新町キャンパス 尋真館
内容:若者/文化/陽性者/医療/教育/セクシャリティーの
多様性を理解するなど様々な視点からの講演やワーク
ショップ・展示など多様なプログラムを通して、性の多様性
を知ることからHIVを理解していくこと、HIV/AIDSが決して
他人ごとではないことを学びます。
入場料:無料
主催:AIDS文化フォーラム in 京都運営委員会

4 ボランティアセミナーのご案内

- ①ちよこっとボランティア 視覚障がい者サポートの講習会
講師 松永信也(まつなが のぶや)氏
日時 9月27日(土) 午後6時30分~8時30分
場所 京都YMCA(三条柳馬場)
参加費 300円 定員 30名(申込順)
 - ②がん患者さんとそのご家族へ
第92回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。
日時 9月20日(土) 午後7時~9時
場所 京都YMCA(三条柳馬場)
参加費 お一人 300円
- ※①②ともお申込は京都YMCA
電話(075)231-4388またはvb@kyotoymca.or.jp



HAPPY BIRTHDAY!

9月11日 澤井 美智子

【編集後記】

早くも8月が終わり、残暑というよりは秋口の涼しさが感じるようになってきました。最近の異常気象には日々恐ろしさを感じます。いつ災害が起こっても冷静に対応できるよう心掛け、準備しておかないといけませんね。
山田 維久仁

〈強調月間〉9月 Menettes

各クラブでメンがメネットの参加を促せる例会の企画を!メネットは是非例会に参加し、ワイズの醍醐味を味わってください!
西村寛子 メネット事業主任

■8月例会出席

第1例会		第2例会	
メンバー	16/23名	メンバー	12/23名
メネット	1名	メネット	0名
コメント	2名	コメント	0名
ゲスト	2名	ゲスト	3名
月間出席者数 20名/22名		月間出席率 91.0%	

■ TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

■ ニコニコ

8月	13,000円
累計	19,000円

■ ファンド

8月	0円
累計	0円

会長	河村 栄二
副会長	宮越 寛 波多野 守一
書記	佐古田 正美
書記	井上 晴雄
会計	竹園 憲二